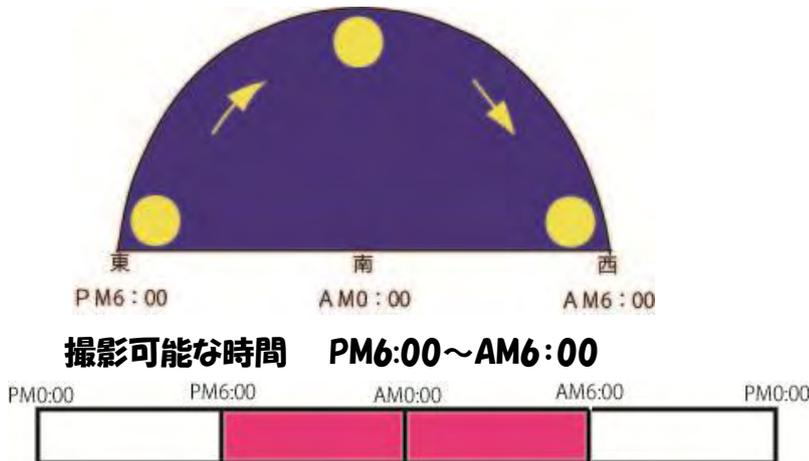


～月の表面の写真 夜間編～

●満月のときの撮影方法

対象：月齢 15.0(満月)前後の月

撮影可能な方角 東(夕方)、南(夜半)、西(明け方)



2011/09/14 AM1:21 月齢15.0 ISO感度64
F値5.8 シャッタースピード1/125

写真からわかること
海は静かな海(1)や晴れた海(2)が確認できます。クレーターはコペルニクス(3)が確認できます。他にはどんな海やクレーターが見えるでしょうか？

《方法》

- ①三脚にカメラを設置して、月が見える方向に向ける。
- ②コンパクトデジタルカメラを**オートモード**に設定する。
- ③測光方式を**マルチパターン測光**に設定する。
- ④ISO感度を**400以下**に設定する。

※. ISO感度が低い方 (ISO 感度64や ISO 感度100) が表面の凹凸が写る。

《満月について一言》

- 月の色は月の高さ(高度)によって変化します。高度が低い時はオレンジっぽい色で、高度が高い時は白っぽくみえます。どの月齢でもこの現象は見受けられるのですが、光っている部分が一番多い満月はとっわけ綺麗です。満月の高度による色の違いをぜひ比べてみてください。
- 満月の特徴として、海の模様はよく確認することができます。しかし、満月は半月や三日月に比べて月の表面の凹凸は確認しにくいです。これは満月が、太陽の光を正面から光を受けているからです。よって、月の表面の凹凸を子ども達に見せたい場合は、満月よりも半月や三日月の方がおすすめです。

●半月のときの撮影

対象:月齢 7.0 or 月齢 22.0 (半月)前後の月

撮影可能な方角 上弦の半月 南(夕方)西(夜半) 下弦の半月 東(夜半)南(明け方)



撮影可能な時間

上弦の半月 PM6:00頃～AM0:00

下弦の半月 AM0:00頃～AM6:00



《方法》

- ①三脚にカメラを設置して、月が見える方向に向ける。
- ②コンパクトデジタルカメラをオートモードに設定する。
- ③測光方式をマルチパターン測光に設定する。
- ④ISO感度を200～400に設定する。

※. ISO感度が低い方が表面の凹凸が写る。しかし、シャッタースピードが遅くなるため、写真がブレてしまう可能性が高くなる。

半月は影との境目にはブレマイオス(④)のようなクレーターが沢山みえます。他にはどんなクレーターがあるでしょうか？



2011/9/5 AM20:39 月齢 7.0 ISO 感度 100
F 値 5.8 シャッタースピード 1/25

《半月について一言》

●半月や三日月は満月よりも光量が少ないため、シャッタースピードが比較的遅くなります。そのため、シャッターを押す振動で写真がブレてしまいがちです。写真のブレを少なくするためには以下のように調整すると良いでしょう。

* ISO感度を1段階もしくは2段階高くする。

ISO 感度を高くすると、シャッタースピードは速くなります。例えば、ISO 感度 100 で撮影して写真がブレた場合は、ISO 感度を 200 か 400 に変えて撮影すると良いでしょう。

*セルフタイマーで2秒または10秒に設定して撮影する。

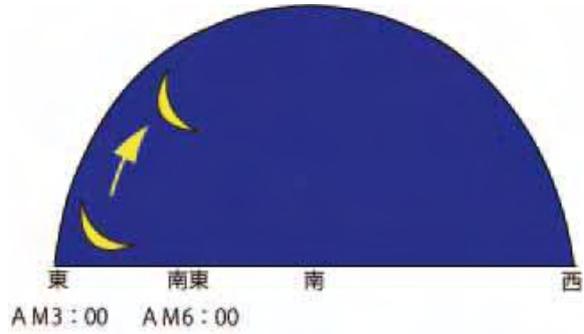
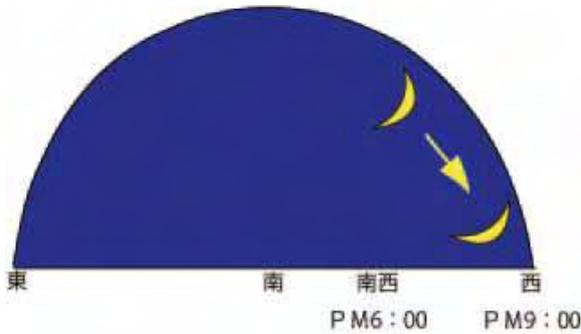
セルフタイマーを使うことで、シャッターを押したときの振動がおさまった状態で撮影することができるため、写真がブレにくくなります。

●三日月のときの撮影

対象:月齢 3.0(三日月)前後の月 or 月齢 25.0(逆三日月)前後の月

撮影可能な方角 三日月 西(夕方)

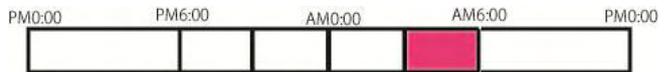
逆三日月 東(明け方)



撮影可能な時間

三日月 夕方から日没後約2・3時間

逆三日月 明け方前2・3時間から明け方

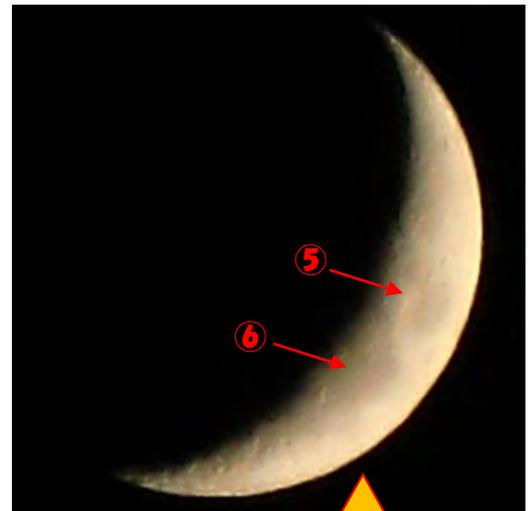


《方法》

- ①三脚にカメラを設置して、月が見える方向に向ける。
- ②コンパクトデジタルカメラをオートモードに設定する。
- ③測光方式をスポット測光に設定する。
- ④ISO感度を200~400に設定する。

※ISO感度が低い方が表面の凹凸が写る。しかし、シャッタースピードが遅くなるため、写真がブレしてしまう可能性が高くなる。

- ⑤三日月の光っている部分に測光する点(ファインダーの中心)を合わせる。



2011/07/05 PM8:27 月齢 4.8
ISO 感度 64 F 値 5.8 シャッタースピード 1/13

三日月は満月や半月に比べてクレーターが見にくいです。
危険の海(⑤)や豊の海(⑥)がうっすら見えます。

《三日月について一言》

●三日月は光っている部分が少ないため、満月や半月に比べると月の模様を撮影するのが難しいです。特に注意しなければいけないのは、画面の中心に光っている部分を合わせることです。この位置がずれてしまうと、右のような月の表面の様子が確認できない写真となってしまいます。

